

リーディングDXスクール事業【実践事例】

愛知県立杏和高等学校

【取組内容】 チャットツール + Webフォーム + クラウド型共有フォルダを利用した欠席連絡まとめ

	1組	2組	3組	4組	5組	6組
1	欠席: 自転車の...	欠席: 風邪	欠席: 諸用	欠席: 風	欠席: 来週から...	欠席: 胃腸風邪だった。
2	欠席: 葬式					
3	忌引: 祖父葬儀					
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10			欠席: インフル			
11						欠席: 頭痛
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						

チャットツールが導入された当時から実装していた欠席連絡のフォーム受付は、自動化ツールを利用しチャット機能で通知を送る仕組みを運用していた。しかし担任の先生方から「通知の中から自分のクラスの生徒を探すのが面倒だ」という意見があり、改善することを目指した。無理にWebフォームとチャットツールを繋ぐのではなく、表計算ソフトのFILTER関数を利用することで解決した。

生成AIに表計算ソフトのスクリーンショットを貼り付けながら互いに試行錯誤することで、ソフトに貼り付けるだけで動作する関数を組み合わせてくれた。エラーが発生した際は生成AIに貼り付けるだけで修正してくれたので、プログラミングや表計算ソフトの関数を組み合わせる作業の効率が格段に向上した。